

令和5年度 埼玉西部環境保全組合維持管理記録（埼玉西部クリーンセンター）

処分した一般廃棄物の月ごとの種類及び数量

種類	処理量（t）													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
可燃ごみ	1号炉	1,685.69	1,597.14	1,516.57	871.14	1,684.17	91.99	584.76	1,538.64	1,453.48	971.49	1,094.45	969.13	14,058.65
	2号炉	1,307.21	980.15	1,495.23	1,433.92	1,656.65	1,764.70	1,703.85	1,254.57	964.50	1,611.49	958.80	1,786.49	16,917.56

燃焼室中の燃焼ガスの温度

測定を行った位置		燃焼室出口												管理値
測定の結果の得られた年月日		令和5年4月30日	令和5年5月31日	令和5年6月30日	令和5年7月31日	令和5年8月31日	令和5年9月30日	令和5年10月31日	令和5年11月30日	令和5年12月31日	令和6年1月31日	令和6年2月29日	令和6年3月31日	
測定の結果【月平均値】	1号炉	917	913	906	925	932	924	941	929	928	945	935	916	800 以上
	2号炉	917	917	916	929	933	933	951	936	928	923	925	929	

集じん器に流入する燃焼ガスの温度

測定を行った位置		バグフィルタ入口												管理値
測定の結果の得られた年月日		令和5年4月30日	令和5年5月31日	令和5年6月30日	令和5年7月31日	令和5年8月31日	令和5年9月30日	令和5年10月31日	令和5年11月30日	令和5年12月31日	令和6年1月31日	令和6年2月29日	令和6年3月31日	
測定の結果【月平均値】	1号炉	180	180	180	182	183	182	182	183	185	185	185	185	概ね200 以下
	2号炉	180	180	181	180	183	182	182	183	184	184	184	185	

煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度(1時間平均値)

測定を行った位置		煙突入口												管理値
測定の結果の得られた年月日		令和5年4月30日	令和5年5月31日	令和5年6月30日	令和5年7月31日	令和5年8月31日	令和5年9月30日	令和5年10月31日	令和5年11月30日	令和5年12月31日	令和6年1月31日	令和6年2月29日	令和6年3月31日	
測定の結果【月平均値】	1号炉	3	4	3	4	6	6	9	6	3	2	4	3	30 以下
	2号炉	4	8	9	6	6	4	8	5	3	5	6	4	

冷却設備及び排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った年月日

ばいじんの除去を行った年月日	常時機械除去
----------------	--------

排ガス測定結果

1号炉

排ガスを採取した位置		煙突												
排ガスを採取した年月日		令和5年4月20日	令和5年5月23日	令和5年6月15日	令和5年7月28日	令和5年8月9日	令和5年9月1日	令和5年10月30日	令和5年11月29日	令和5年12月1日	令和6年1月19日	令和6年2月28日	令和6年3月1日	
測定の結果の得られた年月日		令和5年5月25日	令和5年6月23日	令和5年7月19日	令和5年9月1日	令和5年9月11日	令和5年10月17日	令和5年11月29日	令和6年1月11日	令和6年12月22日	令和6年2月20日	令和6年3月14日	令和6年3月18日	
測定の結果	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	0.16	-	0.029	-	0.073	-	0.078	-	0.045	-	0.023	-	
	硫黄酸化物濃度 (ppm)	7.9	-	1.8	-	3.7	-	4.3	-	3.4	-	1.3	-	
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	
	塩化水素濃度	(mg/m <sup>3</sup> N)	23	-	11	-	27	-	30	-	17	-	30	-
		(ppm)	14	-	7.1	-	16	-	18	-	10	-	18	-
	窒素酸化物濃度 (ppm)	15	-	26	-	28	-	25	-	26	-	27	-	
	水銀濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)	-	-	0.00022	-	-	-	0.0001	-	-	-	-	0.00016	-
	排ガスダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	0.00076	0.000055	0.00005	0.000043	0.00052	0.000089	0.00021	0.00057	0.000065	0.00013	0.0006	0.0003	
	主灰ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	-	-	-	-	0.0039	-	-	-	-	0.0065	-	-	
	飛灰ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	-	-	-	-	0.21	-	-	-	-	0.34	-	-	

2号炉

排ガスを採取した位置		煙突												
排ガスを採取した年月日		令和5年4月21日	令和5年5月23日	令和5年6月16日	令和5年7月27日	令和5年8月10日	令和5年9月5日	令和5年10月31日	令和5年11月30日	令和5年12月4日	令和6年1月22日	令和6年2月27日	令和6年3月5日	
測定の結果の得られた年月日		令和5年5月25日	令和5年6月23日	令和5年8月3日	令和5年9月1日	令和5年9月11日	令和5年10月17日	令和5年11月29日	令和6年1月11日	令和6年12月22日	令和6年2月20日	令和6年3月14日	令和6年3月18日	
測定の結果	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	0.095	-	0.16	-	0.041	-	0.063	-	0.034	-	0.051	-	
	硫黄酸化物濃度 (ppm)	4.9	-	15	-	2.4	-	4.3	-	2.3	-	2.7	-	
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	0.001未満	-	
	塩化水素濃度	(mg/m <sup>3</sup> N)	26	-	26	-	28	-	22	-	21	-	26	-
		(ppm)	16	-	16	-	17	-	13	-	12	-	16	-
	窒素酸化物濃度 (ppm)	22	-	19	-	29	-	27	-	30	-	26	-	
	水銀濃度 (mg/m <sup>3</sup> N)	-	-	0.0031	-	-	-	0.00023	-	-	-	0.00009	-	
	ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	0.00037	0.00025	0.00015	0.00003	0.00062	0.000096	0.00014	0.00063	0.0059	0.00061	0.00047	0.00079	
	主灰ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	-	-	-	-	0.0049	-	-	-	-	0.0047	-	-	
	飛灰ダイオキシン類濃度 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	-	-	-	-	0.23	-	-	-	-	0.28	-	-	

排ガスに関する規制値

	大気汚染防止法	埼玉県基準値	協定基準値
硫黄酸化物排出量/濃度		60.92 m <sup>3</sup> N/h <sup>*</sup>	25ppm
ばいじん濃度	0.15 g/m <sup>3</sup> N	0.15 g/m <sup>3</sup> N	0.01 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素濃度	700 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N	30ppm (=48.9 mg/m <sup>3</sup> N)
窒素酸化物濃度	250ppm	180ppm	50ppm
水銀濃度		0.03mg/m <sup>3</sup> N	0.03mg/m <sup>3</sup> N
ダイオキシン類濃度		1ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N

※法で定められた計算式（17.5×補正された排出口の高さ(m)の二乗×10<sup>-3</sup>）に埼玉西部クリーンセンターの煙突の高さ（59m）を当てはめて算出